

(会議の経過) 第2回 一宮南中学校区 学校規模適正化・幼保一元化に係る地域の委員会

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>※3. 第1回委員会会議録について確認4. 学校規模適正化・幼保一元化推進に関する市の基本的な考え方について、資料説明及びDVD視聴</p>
委員	<p>一宮南中校区では第2回目の学校規模適正化・幼保一元化に係る地域の委員会ということで、第1回目、2回目の説明でも分からないことや、疑問が多々あるのではないかと思います。意見をいただき、教育委員会事務局に答えをいただきたい。</p>
委員	<p>DVDで質の高い教育保育が出来ると言うが、今は低いのか。そうならば、そこを直した方がいいと思う。4km以上は、遠距離通学対策の実施となるとの説明があったが、4km以上は、バス通学になるのか。波賀や千種ではもっと早くから問題になっていたようなことが、今、問題にするのかという話が耳に入ってくる。ここで十分に協議していただきたい。知らない間になっていた、と言うことがないようにしてもらいたい。</p>
事務局	<p>今の幼児教育、保育の質が低いとは思っていない。認定こども園になって更に良くしたいと思っている。DVDにもあったが、0歳から5歳児が一緒に、一定の人数の中で幼児教育、保育を提供していけるように変えていきたい。遠距離通学は小学生の場合4km以上、中学生の場合は6km以上という考えを持っている。公共交通で学校生活に支障がない場合はその選択もあると思うが、そうでない部分については、スクールバスという形で市は責任を持って遠距離対策をしていきたいと思う。今回、各地域の委員会を中学校区でお願いしており、これまで進めている市の考え方は変わっておらず、集団規模の確保のために認定こども園を進めていきたい。その担い手については現在でも保育所においては社会福祉法人の認可保育所で担っていただいている実績があるので、今後も良質な保育教育が提供できることを前提に社会福祉法人に担い手になっていただきたい。教育、保育の質については、市では全体の幼保一元化の推進委員会を作り、こども指針という0歳から5歳児の目指すこども像を作っている。これまでの話の中で民間では特色がある。公立だから安心するという話も聞くが、市としては社会福祉法人にお願いしたいと考えているので、幼児教育、保育の核になる部分を作り、宍粟市が目指す0歳から5歳児の発達段階における成長の度合いというものを客観的に皆さんに説明、理解ができるような子どもの姿を示していきたい。それに基づきこども園が運営し、基本となるところはどこの認定こども園も同じ幼児教育、保育を行いながら、民間の特色を出してほしい。そんな考えを持っている。そうすることで、地域の皆さん方に安心してお子さんを認定こども園に預けていただけたらと思う。</p>
委員	<p>現実問題としてこの会議は一宮南中学校区の説明会だと思っている。市が目指している全体のことを多く説明されると分かりにくくなる。染河内と神戸のことになるので、その観点から具体的なことを説明いただくと分かりやすいと思う。例えば学校規模の問題にしたら、統合すれば、神戸小学校に染河内小学校の生徒が通うことになる。それだけの事だと思う。幼保一元化の件については既に染河内幼稚園を選ばず保育園を選択されている方も少数と言え、いると思う。しかし学校規模の方は、義務教育なので、過ぎた話と言う事には出来ない。この事の方が最初に解決すべき。学校規</p>

事務局	<p>模が解決すれば、染河内幼稚園だけが残るとは思えないので幼保一元化の方向で進むのではないかと。同時に進める必要があるのかと思う。</p> <p>望ましいのは同時になる事だとは思いますが、どちらが先になっても事務局としては、問題ないと思う。染河内の現状を良くご存知の上での発言だと思うが、染河内の子ども達の人数が今60人程度だったと思うが、平均して1学年10人程度になっている。そんな中、男女比が偏っている場合が見られる。できるだけそう言う状況を早く解消したい。教育委員会としては学校規模適正化計画を平成31年以降として示しているが、地域の中でもう少し早く子ども達のために一定規模の集団での教育を受けさせようということを検討いただくのがこの会であり、どこの会でもお願いしているが非常に大変な方向性を決めていただきたいとお願いをしている。今、神戸、染河内地区の子ども達の集団教育がこのままで良いのか、行政と共に地域として責任を持って考えていただきたい。</p>
委員	<p>3歳児、3年生、5年生の母親です。3歳の子を保育所に預けていますが、小さい子にそんな多い人数が必要なのかと思う。南保育所は少人数で家庭的で満足している。年齢の幅がで良い面もあるとは思いますが小さい子に対してそこまでの人数は必要があるのかと思う。学校や幼稚園が近くななくなったら、ますます住みにくいという印象が残り過疎化が進むのではないかと思う。過疎化にならないように新たな人に住んでもらえるような取り組みをしていったほうが良いのではないかと思う。</p>
事務局	<p>3歳児に多い人数が必要かというところで、3歳児は国の基準でも20人に1人という基準なので多い人数が必要かとなれば必要ないかもしれないが、0歳から5歳までの子どもがいる中で育つというところで、上の子を見たり小さい子を見たりする集団の良さはあると思う。経験上、保育所、幼稚園それぞれの施設の良いところはあるので、必ずしも多ければ良い、少なければどうかと言うことはないかもしれないが、少ないよりは人数が多い方がそれぞれの幅が広がり良いと感じる。0歳から3歳未満児については、多い人数の中で揉まれるのが良いかと言うと、少し違うと思う。集団の教育の良さは私自身感じてきた。</p>
事務局	<p>集団でというのは、取り分け4、5歳児の幼稚園年齢の子ども達のこと。染河内は1クラスに7人から10人で多くて16人の学年もあるが、全体的に少ないと思う。少人数の中、先生方は子ども同士の競争も芽生えるので小さい集団の中で工夫していただき幼児教育、保育をしていただいている。一定の人数を確保できる中でいろんなバリエーションができるという説明だったと思う。ご指摘のとおり、子ども達の人数が減っていくことばかり言わないで行政がしっかり人口が増える施策をするのが先ではないかという意見をいただき、その通りだと思う。どこの校区でも言われている。なかなか人口を増やすのが難しい状況が現実。仮に具体的な施策が実を結び人口が増えるとしても、相当の時間がいると思う。現実的に成長をしている子ども達のためにどうあるべきか地域の皆さんと考え進めていきたい。公共施設がなくなるという話をよく聞くが、閉校になった跡地の利用方法は地域のコミュニティの核に使うのか、企業、民間から活用できないかという話をいただく場合もある。多方面で地域の皆さんの理解を得ながら逆に地域が活性化するようなことを一緒に考えて進めていきたい。</p>

委員	<p>幼保一元化についてですが、認定こども園が設立されると学校規模適正化と同じく全ての幼稚園、保育所は閉鎖され新しく1つになるという考え方で良いのか。そうすると1つは保護者の選択肢がなくなるのではないかとと思う。逆に町外に出て行かれてしまうということがあるのではないかとと思う。もう1つは、今現在一宮南中校区の幼稚園、保育所の人数を計算して169名すべての人数をまかなえる規模の場所を新たに作るのか。</p>
事務局	<p>選択肢がなくなるのでは、と、言う質問ですが、基本的に昼間、家庭で子どもの面倒を見ることができる方が幼稚園に、保育所については昼間、子どもの面倒を見ることができない方が保育所を選ぶ。保護者の仕事の状況で施設が幼稚園、保育所と2つあっても自由に選べるわけではなく、制限がかかってくることになる。そういったことを今の現行のままでいくと幼稚園、保育所で同じ年代の子どもが別々に教育を受けることになり、集団での教育が必要になってくる年代の子どもが少人数で教育を受けるということはどうなのかと思う。親の就労に関係なく入所ができる認定こども園を作り、そこで今まで幼稚園の子どもは保育に欠けないという言い方をし、保育所については保育に欠けるという言葉を使っているが、保育に欠けない子どもでも、近所に遊び相手がいないから長時間あずかってほしい。と言う選択もできる。施設は1つになるが、長時間か短時間の利用かという選択肢は今の現行制度からいくと増えてくると思う。心配されているのは施設が1つになるとその施設の教育、保育が合わない場合を選べないということを言われていると思う。宍粟市として0歳から5歳児の目指すこども像を示す中で、それを実行していく仕組みづくりをしていきたいと思う。施設については認定こども園になると市としては財政的には既存の施設を利活用したいという大きな考え方はあるが、今の幼稚園で認定こども園をすとなれば乳児室や保育室が足らなくなり、給食室、調理室も足りない。保育所で行なおうとすれば大きな園庭がなく、遊戯室がない。それぞれ既存の施設を利活用した場合にはそれぞれ改修が必要になってくる。新たに建設するのであれば幼稚園機能、保育園機能を兼ね備えた大きなものを建てなければいけない。新たな認定こども園がスタートすることになってくる。</p>
事務局	<p>選択肢がなくなると言うのは、良く聞く。選択肢というのは保護者の皆さんにとって、より良い所を選べる数があるから保護者の責任で子ども達を良い所に預けたい。これが選択肢になると思う。仮に地域に1つしか認定こども園がないという場合はより良い教育、保育、保護者の声が園運営に届いて反映される仕組みを新しい認定こども園の中に盛り込むことで、選択肢を求められている思いを保証していきたい。</p>
委員	<p>委員は重いことを架せられているが、推進しようとする委員会ではないですね。地域に持ち帰り説明するのか、意見をまとめて発言するのか、委員会の位置づけがはっきりしていない。その点についてお答えいただきたい。</p>
事務局	<p>教育委員会としては進めさせていただきたい、というのが基本にある。そのことに対して地域の皆さん方と一緒に議論、協議をしていただく中で最終的に地域の皆さん方がどの様な方向性を選ばれるかによる。結論ありきで臨んでいるわけではない。例えば適正規模化を進めようという最終的な</p>

	<p>方向性をこの委員会で決めていただく責任の重い委員会だと思う。1回目の時にフロー図で説明したと思うが、地域の方向性をこの委員だけで決めて良いのかという問題があるので地域の皆さんの意見を集約する方法も皆さんと議論し決めていけたらと思う。結果、アンケートを神戸、染河内全世帯でとるのも事務局が一方的に決めるものではないので十分な議論も含めてこの場で検討いただきたい。それぞれ委員の方の立場もあり、地域にとっても大きな課題でもある。この会議での協議の進み具合、教育委員会の考え方を地域に持ち帰っていただくこともお願いしたい。また、HPで会議録を載せ、情報をオープンにし、どの地区でどれくらい進んでいるかという事もお互いが知り得る中で最終的にこの地域としての方向性を判断いただく重い会議をしていただいている。地域全体で議論が進んでいけたらと思う。</p>
委員	<p>事務局の言う通りだと思うが、逆に各団体なり、PTAの会長なり、色々な団体から出てもらっているの、会議の内容を話していくのと同時に地域からの意見をどんどん持ってきてもらいたい。だから2ヶ月に1回の開催になるのではないかと思う。</p>
委員	<p>学校規模適正化についての実施場所は、中学校にもっとも近い小学校の校舎を使用ということは神戸小学校のことだと思うが、自分は神戸小学校地区なので反対はない。染河内小学校の保護者の方からしたら、反対の意見もあるのではないかと思う。反対の意見を持った方に集まってもらい説明した方が良いのではないかと思う。</p>
事務局	<p>地域の皆さんに議論いただく中で、染河内小学校を使おうという意見もあることだと思う。昨年までは各小学校区で説明してきたが、仮に染河内小学校で実施してほしいということになった時に、結局神戸小学校地区の方とも最終的には1つにすり合わせる必要が出てくる。お互いの地域の事情を分かった上で意見の集約を導いていただきたい。</p>
事務局	<p>100人が100人とも賛成することはなかなか難しい。やはり最終的にはアンケートというやり方もひとつの手法だが、1番良いものを導きだそうということで今、この時期に一緒に考えてほしいとお願いしている。</p>
委員	<p>保護者が少ない方が良いと言えば、事務局は多い方が良い、と言う、対立的なことが出てくるのではないかと思う。その辺りのすり合わせをもっとしていかないと、溝が出来たままではないかと思う。</p>
事務局	<p>否定しているわけではない。事務局は理解してもらうためわかりやすく説明することが必要と思う。</p>
委員	<p>今回の幼保一元化について、当事者の親に対して何処までの説明をされてきたのかということを知りたい。</p>
事務局	<p>去年まで千種、波賀に重点的に話をしてきた。幼稚園、保育所、在宅それぞれの保護者を対象にして説明してきた。千種では30数回説明してきたが公か民かということではなかなか理解が得られなかった。宍粟市全体については幼保一元化の推進計画ができた平成21年の8月から、一宮南中校区では各小学校区に案内し計画の概要説明をしている。去年、連合PTA役員からの要望で説明した。一宮南中校区では計画の概要を説明しただけである。今回、地域の委員会を立ち上げてこれから話を深めていく段階。</p>
事務局	<p>今の段階で深い説明はできていない。これからふれあいミーティングや各</p>

	<p>団体に内容の説明をしていくことになると思う。入口の部分だと思っていたらいただきたい。</p>
委員 委員	<p>反対意見、賛成意見の数値が出ているのかということを知りたかった。</p>
事務局	<p>波賀や千種が30回も説明して進まなかった。自治会としては、何故、千種と波賀だけを先行してするのか。山崎や一宮に話が伝わっているのか疑問に思った。市になったのだから山崎も一宮も同時に議論していかないといけないのではないかと提案があって、こういう委員会ができた。教育委員会の説明に対して皆さんの意見を聞かせてほしい。認定こども園にする社会福祉法人が宍粟市で何ヶ所あるのか。</p>
事務局	<p>全体で9園の民間の認定保育所の中、7園が社会福祉法人であり、1園は宗教学法人、1園は有限会社である。</p>
委員	<p>出来たら0歳から5歳まで全員が認定こども園に入所してもらおうと言う説明だったが、3つ子の魂100歳までというが、できることなら0歳から3歳くらいまでは親もとが良いのではないと思う。この辺りはどう思われるか。</p>
事務局	<p>0歳から5歳までという説明をずっとしてきたが、少し補足すると特に幼稚園年齢の4、5歳児になると集団教育が必要になってくるということで、3歳未満児は保育を必要とする子どもに限ると考えている。すべての0歳から5歳児を預かる施設にするのではなく、必要に応じて保育を必要とする乳幼児と、4、5歳児については、集団での教育が必要になってくるその部分については、義務教育ではないが、小学校へつなげていくため全ての4、5歳児を対象に認定こども園に入園していただきたい。</p>
委員	<p>前回の会議で幼保一元化の話は保護者の方に説明済みと言われたが、今日の資料で11ページの幼保一元化に関する課題整理している部分は、保護者の方の意見を聞いた計画か。参考までに伺いたい。</p>
事務局	<p>一宮南中学校区につきましては推進計画ができた平成21年8月に、枠組みとして小学校区の子供達が減ってきているので中学校区に枠を広げて認定こども園、幼保一元化を進めていきたいと説明してきた。11ページに書いている課題整理については主に波賀、千種の意見をまとめたもの。</p>
委員	<p>一宮南中学校区の保護者の意見ではないのか。我々も大きな責任を持たされているので、保護者の意見が非常に大切で、検討する上でも必要だと思う。そこをもう少し示してほしい。</p>
事務局	<p>一宮南中学校区では話し合いが十分されていないので、これから進めさせていただき地域として大きな方向性をどうしていくか皆さんと検討していきたいと思う。</p>
委員	<p>次回は更に具体的なものにしていきたいと思う。今回、意見を言われなかった方は、次回は是非意見をいただきたい。</p>